

「藤枝での2年間の初期研修を振り返って」



研修センター通信

2年次 横山 真依子

気がつけば桜が咲き始め、あっという間に研修医の2年間が終わろうとしています。

2021年4月、国試の知識なんて全て吹っ飛んだ状態で研修医生活がスタートしました。初めはカルテの使い方を覚えることからスタートしました。1年生の時は、日常業務でも日当直でも日々自分の無力さ・不勉強さを痛感させられ、反省反省の毎日でした。12月にローテーションした呼吸器内科ではICUの患者さんの治療を任せられ、何もできずに、面談のとき指導医の松浦先生の目の前で大号泣したのも、今となってはいい思い出です。

2年生になると、志望科も定まり日々楽しく仕事を行うことができるようになりました。乗り越えてきた小さな困難のひとつひとつが自分の成長に繋がっているのだと実感できました。

2年前は何もできなかった私も、同期や先輩・後輩、指導医の先生方、事務の方々に支えられてなんとかここまでやってくることができました。これまでに私に関わってくてくださった方々にこの場を借りて感謝申し上げます。

4月からは形成外科医として引き続き藤枝市立総合病院で勤務します。傷のことはお任せ下さい!…と言えるようにこれからも精進していきたいと思えます。

2年間本当にありがとうございました。

vol. 139

令和5年3月31日

発行:教育研修センター



2年次 藤本 拓也

2年前の4月、この病院に入職したときはこんなに研修医の2年間が一瞬で過ぎ去るとは思っていませんでした。仕事に追われ、日常に追われていたら本当にあっという間に終わってしまいました。

振り返ってみれば、様々な面で、かなり恵まれた環境で研修が出来たなあと感じます。それぞれの科の先生方や一年間をともに過ごした先輩方も優しくしてくれて、さらに同期や後輩とも仲良くお互いを高めあって、一年目の最初の右も左もわからなかった頃よりは成長出来たと思っています。また、救急科をはじめとした看護師さんや、薬剤師さん、医局や事務の方々、その他たくさんの人たちに支えられ、今回初期研修を修了することができました。プライベートの相談にも快く乗ってくださった先生方にも、感謝の気持ちでいっぱいです。

4月からは東京大学の医局で、焼津市立総合病院で総合診療内科医として後期研修をさせていただく予定です。おそらく仕事も家庭も忙しくなりあまり時間は取れないのですが、そう遠くない場所には居るので、またお邪魔することはあるかもしれません。その際は、さらに成長した姿をお見せできるよういっそう精進します。2年間本当にありがとうございました。

初期研修修了おめでとうございませす!

新天地での活躍を期待しています!